

# たかの橋通信

医療法人社団 仁鷹会 たかの橋中央病院

第8巻 第3号

2014年 1月 22日 発行

## 理念

- ・ 良質で心温まる医療
- ・ 奉仕の精神
- ・ 研鑽と謙虚

## 基本方針

- ・ 患者さまの権利を守ることを第一とする
- ・ 患者さまとのコミュニケーションを大切にする
- ・ 常に医療倫理の元に行動する
- ・ 医療安全管理の基本を怠らない
- ・ 良い接遇は良い医療を生み出すことを銘記する



## 新年挨拶



医療法人社団 仁鷹会  
理事長 林 鷹治

新年明けましておめでとうございます。本年も皆様方がお変わりなく幸せになれる年でありますように心からお祈りいたします。

さて、年末には特定秘密保護法の成立と国会は混乱を招き、自民党は財政再建と社会保障制度を同時に達成する考えを強調しておりますが山積する課題は多く、消費税の増税、米軍辺野古移転、原発政策、TPP問題の在り方等、更に未だに東日本大震災による被災地の方々も仮住宅に多くお住まいと聞いております。海外においては台風30号の影響でフィリピンでは死者・行方不明を含め約7000人以上の被害が発生しました。自衛隊の援助派遣も迅速に行われ、当病院からも1名ではありますが、看護師の派遣も行いました。

社会保障制度の中でも特に年金財政、介護保険制度の問題があるのではないのでしょうか。マスコミによると2025年には75歳以上の人が2179万人となり5人に1人が該当し、老々介護といわれる介護ショックが日本に襲いかかって来るとも言われております。

当院においては、昨年より外来化学療法を始めました。患者さまを中心に考え他の医療機関とも連携したチーム医療を行っています。少しでも充実した医療機関をスタッフ一同目指し努力して参ります。現在、ノロウイルスやインフルエンザによる健康被害が発生しやすい時期でございますので予防対策の徹底が重要となって参ります。あらゆる事に関して地域の方々に満足していただける医療や介護を目指し職員一丸となり取り組んで参ります。本年も宜しくお願い申し上げます。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

何事もうまくいく年になります様に干支に因んで願望を持って新たな年を迎えられた事と存じます。

まずは地域の皆様との連携を良好に維持する為、効果的な体制の充実を図る事を目標に邁進していきたいと考えております。診療報酬改定、消費税8%にアップと条件が変わる中、あらゆる面での解決策を模索していかなければなりません。地域医療、在宅医療へシフトしていくなかで看護部に大きな役割を担うことが期待される訪問看護、現時点では厳しい条件ですが前向きに努力して参りたいと思っております。患者様に安全、安心、質の高い医療や看護を提供するよう昨年以上に地域の皆様と共に連携の強化を図り、満足していただける仁鷹会にして参りたいと思っております。

皆様のご多幸を心より祈念しつつ、年頭の挨拶とさせていただきます。

看護部長 長谷川 和子

## 災害支援を経験して

報道でもご存知のとおり、2013年11月7日～8日に台風30号ハイエンが、フィリピン中部のレイテ島等島嶼地域を横断し、多大な被害をもたらしました。私は、NPO法人HuMA(災害人道医療支援会)4次隊看護師としてレイテ島Merida町に派遣され巡回診療を行いました。ライフラインの回復は一部のみで、住宅の改修も物資が足りず進んでいませんでした。巡回した地域では、小児や妊婦も多く、アクセス難や貧困により医療が受けられない方が多くおられました。夫が台風で亡くなったと話され、泣き崩れる方もおられました。また、診療を受け安堵の表情となった患者さん、子供たちの笑顔を多く見る事ができ、うれしく思いました。亜熱帯気候の過酷な状況でしたが、微力ながらも現地の方に医療を提供することができ、大変貴重な経験ができました。

看護部 小池 淳子



写真は、診療最終日に、医師とともに診療統計を入力しているところです。



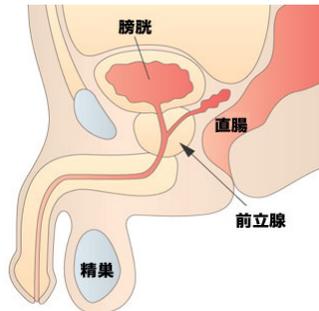
## 前立腺肥大症の治療に最新レーザー機器を導入

泌尿器科に新しく購入した前立腺肥大症の治療機器を紹介します

### 前立腺肥大症とは？

前立腺は男性の膀胱の下にある尿道を取り囲んでいる臓器で、加齢に伴って前立腺が肥大すると、尿道が圧迫され狭くなり尿の流れが妨げられ下記のような排尿症状を引き起こします。

尿の勢いが弱い、時間がかかる  
排尿時にいきむ必要がある  
残った感じ(残尿感)がある  
頻尿、特に夜間頻尿がある



正常の前立腺

肥大し尿道を圧迫

### これまでの前立腺肥大症の手術方法

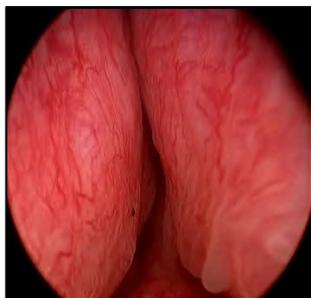
開腹手術から経尿道的前立腺切除術(TUR-P)へ：尿道から内視鏡を用いて肥大した前立腺を電気切除していましたが、技術的に難しく、出血が多く、還流液に生理食塩水を使えないため水中毒のリスクがありました。術後厳しい安静が必要で、4日後までカテーテル留置が必要でした。

今回、泌尿器科に導入したAMSグリーンライトレーザーは、高出力532nmレーザーを用いて前立腺肥大組織を除去(蒸散、凝固)させるシステムです。

特徴 手術手技が簡便で、生理食塩水で治療可能  
他の手術に比べ、出血や術後の痛みが少なく安全である  
尿道カテーテルを短時間で抜く事ができる  
早期に尿の勢いが回復し、入院期間が短く、早く通常の生活に戻れる

以上のように、患者様に非常に安全で優しい治療であるとともに、医師、看護師にとっても安全な治療法です。もちろん保険治療可能です。

治療前、尿道が圧迫されている レーザー治療後



AMS GreenLight HPS コンソールと専用の内視鏡の側射型ファイバーからグリーンレーザーが出ているシエーマ

### 編集後記

鍋料理がおいしい季節です。温かい料理をしっかりと食べて心も身体も温かくし風邪を引かないよう気をつけましょう。

今年も職員一同よろしくお願ひします。

福利厚生・広報委員会 川崎 田中